

令和4年度第3回福祉サービス相談委員会

(1) 日時 : 令和5年3月16日(木) 17:00~18:00

(2) 開催場所 : 吉野こども園

(3) 出席者

(委員) 玉ノ井 美恵子 ・ 三村 晴美 ・ 伊東 祥子 ・ 宝珠山 美奈

(苦情解決責任者) 鹿苑 修 (苦情受付担当者) 佐藤 留未子

(その他) 上曾山 摩耶

(4) 審議内容

委員長の玉ノ井 美恵子氏の司会により審議を始める。

① こども園の現状について

施設代表(苦情解決責任者)鹿苑 園長より、資料をもとに1月からの園の状況などについて報告する。保育の状況が変わってきている現在において、これまでのいわゆる一斉保育ではなく、子ども主体の保育が大切となっている。そのため、発表会の在り方を見直し、あくまで子どもが中心となって、子どもがやりたいことを大切に話し合いながら計画、準備を進めてきたことを報告した。

委員さんからは、昨年よりも発表会に規模を広げて開催することができ良かったのではないかと、また、小さい子どもステージで踊っている姿を見るのはとてもかわいくていいが、それまでの保育教諭さんたちの準備を考えると大変さもあるので、保育参観という方法もいいと思うとの言葉を頂いた。保護者の立場からも、近くで見られたし、昨年は見られなかったのととてもありがたかったとの言葉を頂いた。

② 福祉サービスに関する苦情について

園からも委員さんからも苦情などはなかった。

③ その他

保育士による虐待のニュースが報道されていたが、年配の保育士がこれまでの保育にやり方は違ってきていることに対して追い付いていなかったり、コロナによる気疲れ等のストレスが溜まってきているという報道もある。個を大切に保育が求められているが、それに見合った保育士の確保、配置基準の見直しの必要性があるのではないかとということが話題に上がった。また、少子化により、園だけではなく地域的にも子どもが少なくなっている。吉野地区の移住者を増やすには、地域を挙げて特色を打ち出していかなければいけないという思いを共有した。子育てサロンすまいるともまた以前のように交流会ができればという話があった。